

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2023年11月

月寒・東月寒地区では、あやめ野小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

この度、令和5年9月19日に第3回学校配置検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。



<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

※第2回検討委員会の後、計2件のご意見等が寄せられました。第3回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記HPで公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

協議事項 1. 適正な学校規模で期待できることについて

※第3回検討委員会にて、統合することで期待できる効果について具体的に知りたいとの意見があったため、各種資料等に基づき協議を行いました。

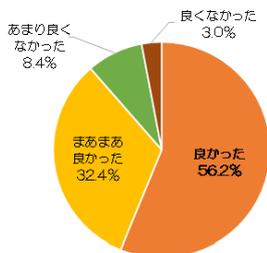
【資料3-1（抜粋）】小学校の学級数と教員定数の関係 ※普通学級数に基づく基準（特別支援学級、養護教諭、事務職員、栄養教諭等を除く）

学級数	1		2		3		4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	※ア	※イ	※ウ	※エ	※オ	※カ																						
教員定数	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	28	29	

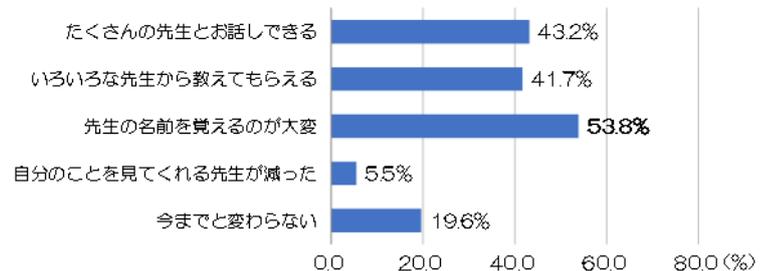
※ア 併置校 ※イ 単置校 ※ウ 単置校で15人以下又は併置校で37人以下 ※エ 単置校で16人以上又は併置校で38人以上
※オ 100人以下 ※カ 100人以上

【資料3-2（抜粋）】令和3年4月に開校した芸術の森小学校のアンケート調査のうち児童アンケートより抜粋

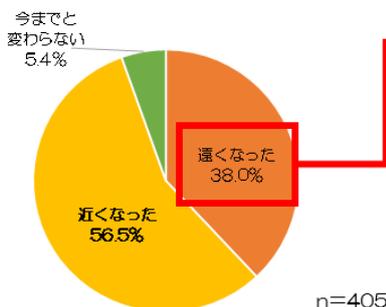
●芸術の森小学校になって人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。



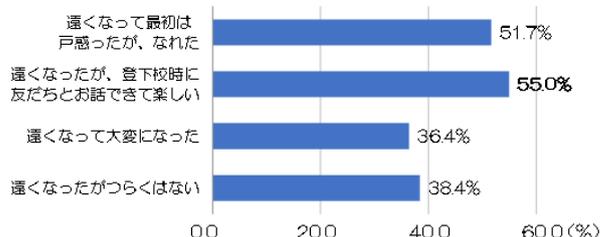
●先生が増えたことで変わったことはありますか。（複数回答）



●芸術の森小学校になって、学校まで遠くなりましたか。



「遠くなったと答えた児童の意見」
通学について、どのように感じていますか。（複数回答）



意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

- こういうアンケートだと、なかなかネガティブな回答がしばらくと思う中で「自分のことを見てくれる先生が減った」と回答している児童が5.5%いるということは注目すべき。
- 5.5%の児童がその他の質問事項にどう回答しているのかを分析してみてもどうか。
- 児童と保護者では認識が違ふところもある。このアンケート結果全体について教育委員会としてはどう受け止めているのか？

⇒【教育委員会】

- ・ 少ない割合だとしてもネガティブな意見をきちんと受け止める必要があるというご意見はおっしゃる通りだと思います。
- ・ 当時のアンケートデータを確認し、可能であれば次回の検討委員会で詳細な内容についての資料を作成してお示ししたいと思います。
- ・ アンケート結果全体としては、規模適正化したことについて前向きにとらえていただいている児童・保護者が多かったものと受け止めています。
- ・ 教員数は12学級から13学級になると、学級数プラス3人から4人になります。担任外の先生が一人多いというのは学校としては非常に大きな違いとなります。

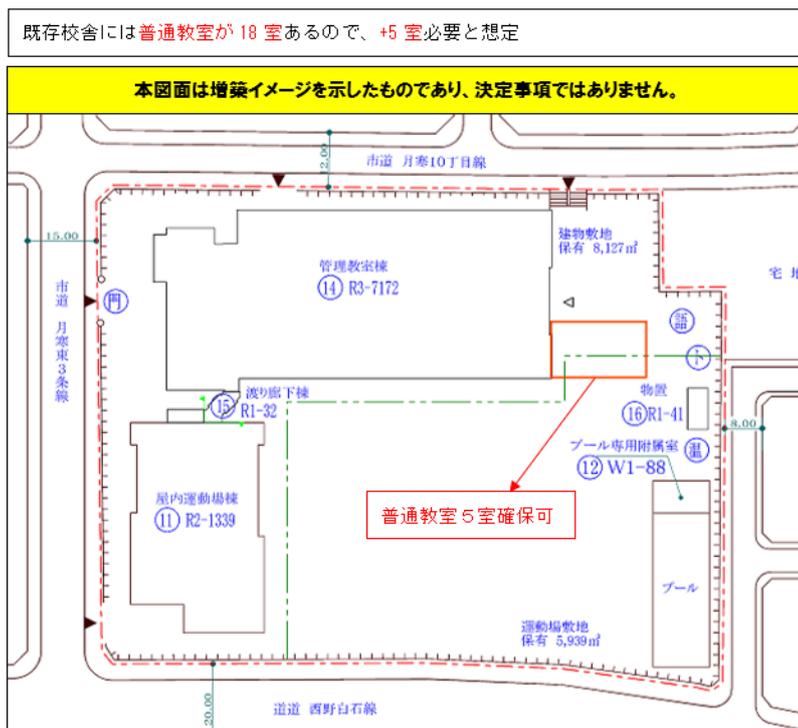
【協議結果】

○アンケート結果についての詳細資料を基に、継続して検討を行う。

協議事項2. 月寒東小の増築イメージについて

※第3回検討委員会にて、月寒東小にあやめ野小の児童が通学することになった場合に月寒東小の校舎の増築が可能なのか、という意見があったため、下記資料に基づき説明及び協議を行いました。

【資料4（抜粋）】 現校舎の東側に増築棟を建て、必要教室数を確保する場合のイメージ図



(1) R5 児童数（あやめ野小+月寒東小）

学年	あやめ野	月寒東	合計	クラス数
1	24人	77人	101人	3
2	33人	95人	128人	4
3	28人	110人	138人	4
4	18人	90人	108人	4
5	25人	73人	98人	3
6	25人	107人	132人	4
合計	153人	552人	705人	22
特支	7人	19人	26人	-

※クラス数は全学年35人学級で計算

(2) R10 推計（あやめ野小+月寒東小）

学年	あやめ野	月寒東	合計	クラス数
1	43人	75人	118人	4
2	32人	68人	100人	3
3	27人	84人	111人	4
4	35人	74人	109人	4
5	27人	84人	111人	4
6	34人	76人	110人	4
合計	198人	461人	659人	23

※普通学級のみ

- 東側に増築棟ができると客用駐車場スペースが無くなりアクセスがしづらくなるのでは。
- 推計を見ると、あやめ野小の児童が増える予想のようだが、今後も続くのであればあやめ野小の方に統合した上で、複合化する方がいいのではないかと。地域交流施設が小学校内にある方が地域としてはありがたい。
- 月寒東小にこんな窮屈な思いをさせてまで統合しなければならないのか、発想を変えて考え直してはどうか。例えば、学校同士の連携でカバーできないか。
- 過去2回の検討委員会では、あやめ野小を統合するという方向で話してきた。その前提を踏まえて検討を進めていくべき。

⇒【教育委員会】

- ・お示した図はあくまで増設が可能な一例としてのイメージ図で、実際にこの案をベースに検討するというものではありません。
- ・新しいマンションの建設などで短期的に児童が増えることがあっても、全市的に少子化が進む中で、全学年が複数クラスになる規模まで継続して児童が増加していく可能性は低いと考えています。

【協議結果】

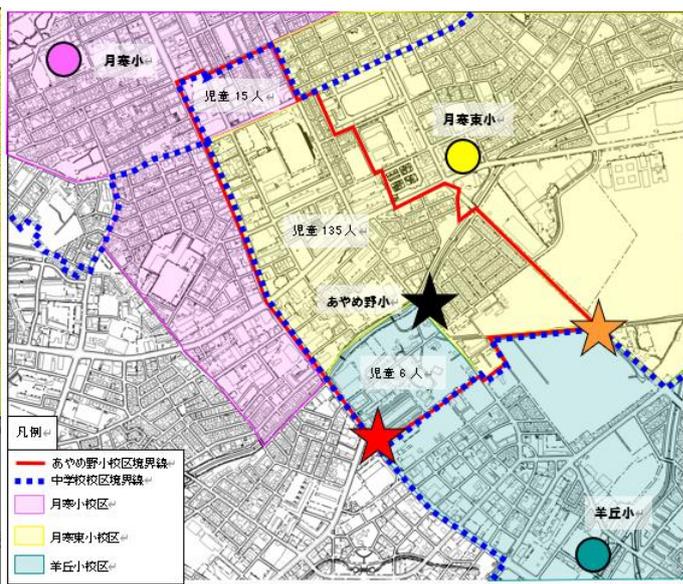
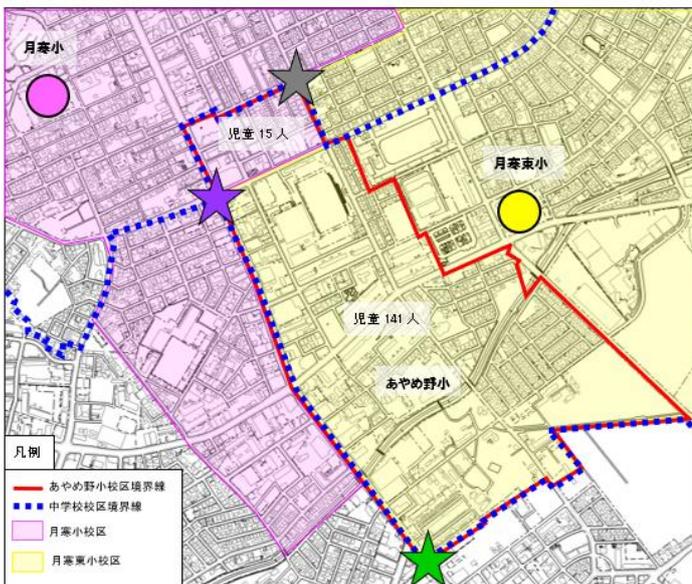
○月寒東小の増築を基本として、小規模校の適正化を進める方針を確認した。

協議事項3. 統合後の通学区域の設定について

【資料5（抜粋）】統合後の通学区域の設定について（校区の一部を月寒小、羊丘小校区とするイメージ図）

1 水源池通から北側を月寒小校区とした場合

2 月寒川より南側かつ豊平月寒2条線西側を羊丘小校区とした場合



○水源池通から北側を月寒小校区とすることで、対象地域の多くの児童は通学時間が短くなる。

- 現状のあやめ野小校区が分割されるため、あやめ野小児童が2校に分かれることになる。
- ※中学校校区について、小学校校区に合わせて変更するべきかどうかの検討が必要。

○月寒川より南側かつ豊平月寒2条線西側の区域を羊丘小校区とすることで、通学時間が短くなる児童がいる。

- 現状のあやめ野小校区が分割されるため、あやめ野小児童が2校に分かれることになる。
- ※中学校校区について、小学校校区に合わせて変更するべきかどうかの検討が必要。

	距離	時間 ※分速50m
★から月寒小	約0.85km	約17分
★から月寒東小	約0.85km	約17分
☆から月寒小	約0.7km	約14分
☆から月寒東小	約1km	約20分
★から月寒小	約1.8km	約36分
★から月寒東小	約1.5km	約36分

	距離	時間 ※分速50m
★から月寒東小	約1km	約20分
★から羊丘小	約1km	約20分
★から月寒東小	約0.7km	約14分
★から羊丘小	約1km	約20分
★から月寒東小	約0.7km	約14分
★から羊丘小	約0.9km	約18分

- 距離以外に考慮する要素として、交通安全・除雪・町内会区域などがあるのであれば、それぞれ可視化して資料にしてもらえると通学区域の設定について検討しやすくなる。
- 芸術の森小のアンケート結果を見ると、通学距離について、「遠くなったが登下校時に友達とお話できて嬉しい」という回答をした児童が一定数いるので、距離についての捉え方は児童と保護者でギャップがあるかもしれない。
- 児童 15 名が月寒小に通うという案になっているが、学年で見た場合数名程度となる。その数名が他のあやめ野小児童と離れる形で区割りしていいのかどうか今一度検討してもらいたい。

⇒【教育委員会】

- ・通学区域については、可能な範囲で関係する情報を追加した資料を準備したいと思います。
- ・今回一部、月寒小、羊丘小とした案をお示しした範囲の学年別、未就学児の人数についても次回資料として検討いたします。

【協議結果】

○通学区域について、次回以降も引き続き検討を行う。

次回の検討委員会について

- ▶ 会議名 第4回 月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会
 - ▶ 開催日時 2023年(令和5年)12月18日 月曜日 16時00分～17時30分
 - ▶ 開催場所 月寒公民館(豊平区月寒中央通7丁目8-19)
- ※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。
また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第4回)検討委員会の議題(予定)

- ▶ 第3回検討委員会の振り返り ▶ 地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶ 通学区域の検討 ▶ その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶ 電話: 011-211-3836 FAX: 011-211-3837
- ▶ e-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

学校規模適正化 月寒・東月寒

検索



さっぽろ市
02-S01-23-1996
R5-2-1279

SAPPORO